

アメリカのフローリング市場

国内における極めて活発な建築活動の反映で床材の需要は非常に旺盛である。このためプラスチック製品、その他の新製品が多数あらわれ、少なくとも広葉樹フローリングは盛んな建築活動の割合にその恩恵にあまリ浴しているといえる。

米国の生産量は一九五〇年より一九五六年が最高でその後プラスチック、カーペット等に市場を取られ減少しているが最近また木質床の宣伝が功を奏したことと材質の良さとプラスチック製品の欠点などもあり急速に増加しつつあり、加えて木質床の高度加工（モザイク、フロック、合板パネル）等数多くの美しい木材床の進出と相まって大いに期待出来ると思われる。

しかし今後カーペットの進出は大きいと考えられる。特に北部の寒地には益々増加の一途をたどるものと思われる。木材フローリングを益々伸ばすためには施工コストの安い新製品の利点を利用することが必要である。

①国内生産と輸入
国内生産量のうちフローリングボードは九二%、パーテハがモザイク・パーケットであるが将来パーケットおよびモ

欧米の市場調査
(上)

北海道パーケット工業株式会社
社長 井村守治

材の樹種もほとんどオークである。

②流通と価格
木材フローリングは小売さか製造業者または問屋より買入れ施工するものがほとんどである。価格は日本産オーク、モザイク・パーケットが米国内に大量輸出された歴史は二年程度であり日本産モザイクを量産されはじめて五年程度であり輸出に比べて工場生産でフルに仕上げたために多少安値で輸出しアメリカ市場で日本モザイクが完全に受入

各校に会頭賞贈る

三十九年度卒の函館市内公立各高校、短大などの成績優秀者には本所から会頭賞が贈られた。この受賞者は次のとおり。

大島真佐江（大谷）佐藤志保子（白百合）三上州一（中部）木村隆夫（西）吉田満（商業）堀口寛（工業）松野哲雄（水産）谷川美枝子（看護）越前節子（昭和）大庭聖子（大妻）旗山節子（女子商）波松邦次（東）佐藤修治（工業）西楚海永（中部）加藤賢二（亀田高）小泉睦子（保母）石田徹也（有斗）安倍政一（商業）伊東千代志（西定）並川優子（短大）倉裕子（同）小田切奈美（栄養）広田正雄（職訓）我妻義昭（総合職訓）

優良土産品推薦会

函館優良土産品推薦会（市、函館観光物産協会、本所所共催）は四月二十三日本所三階ホールで開かれ農畜産品、工芸品その他で四月十五日までに本所業務課へ申し込めばよい。優秀品には市長賞（一点）会頭賞（二点）函館観光物産協賞（二点）奨励賞（若干）が贈られる。詳しいことは本所業務課へ。

人の使い方

企業内での教育の重要性が認識されるようになった。最近採用決定のPR誌や社内報を送って会社員を送って入社前に一応の社員としての必要知識を植えつけてしまおうというところなどいろいろある。

企業としては少くも早く一人前に育てたいといった気持からである。ところが、これを受け取る学生のほうはどういう気持ちでこれに臨んでいるだろうか。

これに対する答えとなるような声を先日、この席で学生諸君との座談会の中で聞いた。座談会ができたので、ここに紹介する。座談会に紹介することにした。

「会社から、会社の雑誌が初めて送られてきた時はうれしかった。ほくも一人前に社員になったんだという実感がわきました。高校生活」

「一応は調べて入社をきめたのですが、わたし達が調べたのは一般の評判とか給料とか昇進のこと、会社から送ってきた色々な会

入社前教育

社の活動や製品についての資料をみてから自分の観念がずいぶん正されました。入社が決まった時は二流会社で不満だったのですが、今はこの会社にはいいところがあったという感じがする。この会社にはいいところがあったという感じがする。この会社にはいいところがあったという感じがする。

「私のところは二月から毎週一日か二日きめられた日に会社に行き教育を受けることになった。試験に受かったら入社する。試験に受かったら入社する。試験に受かったら入社する。」

「会社から、会社の雑誌が初めて送られてきた時はうれしかった。ほくも一人前に社員になったんだという実感がわきました。高校生活」

「一応は調べて入社をきめたのですが、わたし達が調べたのは一般の評判とか給料とか昇進のこと、会社から送ってきた色々な会

昭和40年度本所事業計画 地元産業振興へ 重点目標に六項目

昭和四十年度の日本経済は昨年度来の金融引締め中心の景気調整を経て漸く安定成長に向かいつつあり、今後基本的には金融緩和から景気回復の局面に入るものと見られている。

しかしながら本年は開放経済体制第二年度を迎え、国際収支もやや好転の兆しをみせているものの海外景気の変動も予想され、厳しい国際環境に対する充分な検討と対策が要請される一方、国内的には強い金融引締め政策にもかかわらず意外に伸びた鉱工業生産と在庫圧迫あるいは企業間信用の膨張、これの背後にある

くは中小企業の育成振興に、この時に当って本商工会議所は函館市が従来とくく各関係機関の間においてその経済振興、総合開発が軽視されがちであったことに鑑み今後さらに一層地域的総合経済団体としての重大使命達成のため道南地方に対する道総合開発計画の推進、青函トンネル開通問題

第一 事業の重点目標

①本商工会議所の組織の強化と運営基盤の確立②既存地元産業の育成振興③広域経済圏の建設および隣接町村の合併促進④民間および公共投資の積極的導入促進⑤道南国立公園指定および新観光ルート確立の促進⑥貿易振興および地元生産品の普及と向上の推進

第二 事業概要

①組織の強化と運営基盤の確立に関する事項②経済

政策および経済動向の調査研究に関する事項③地域経済振興対策に関する事項④道南地方総合開発に関する事項⑤貿易の振興に関する事項⑥観光関係事業の振興に関する事項⑦外郭団体等との連絡提携

共同調査機関の設置などを陳情

本所は三月二十七日吉谷函館市長、味方市議会議長に青函トンネル建設にともなう函館市の対策を研究するため函館市、渡島支庁、本会議所三者共同の調査機関の設置とその予算措置を陳情した。これは三月二十四日開かれた臨時議員総会の決議にもとづいて行なわれたものでトンネル完成後の函館市の青写真を学界的権威に依頼し研究しようとするもの。なお矢野渡島支庁長にも同じく陳情した。

△十一月 観光誘致団体派遣、第二十三回簿記検定試験、資産税説明会、移動相談、実務簿記講座、検定簿記講座、第九回計算尺検定大会、道庁予選、年齢別勤続年数別給与実態調査

△十二月 第二十二回計算尺検定試験、函館物産展、示即売会、新規学卒者初任給調査

△一月 第九回計算尺検定大会、中小企業の景気動向調査、資金給与実態調査、税務指導講習会

△二月 第五十六回珠算能力検定試験、第二回雪と水の祭典、決算実務指導、資金講習会

△三月 就職する中卒者激励会、法人税申告書講習会、決算実務指導

△四月 第三十三回簿記検定試験、二級合格者次のおと